

体にいいと好評の温泉の湯を販売

単放射能温泉「奥日野・薬師秘湯」

昨年、福長地区に進出した株式会社フレクシオンフレイム（安部達範会長）が、工場敷地内から出た温泉の湯を7月19日から飲料用・入浴用として販売開始しました。

湯は、関金、三朝温泉と同質の単放射能温泉で、無味無臭。「奥日野・薬師秘湯」と名づけ、同社敷地内に配湯所を造り1ℓ50円のセルフ方式で売っています。

以前から「アレルギーが治った」など健康にいいと湯をくみに来る人があるため販売することになりました。

源泉を所有する阿部達範さんは、「この水は弱アルカリ性

で、体質改善に役立ちます。ぜひ、飲んで健康になつてほしい」と話していました。

単放射能温泉は、熱水が地下の岩石に含まれる放射物質（ラドン）を溶かし出したもので、古くから痛風、神経痛などに効くと言われています。配湯所は午前7時から午後7時まで営業をしています。

温泉は、一昨年、工場建設のためボーリング中にゆう出た29・2度の温泉が1日に86ℓ（1分間に60ℓ）わき出てくるため、研修所に露天風呂（紅葉温泉）を建設。近所の住民や高齢者などに利用してもらっています。



配湯所を造り温泉の湯を販売



いざという時のため救急法の知識を深める

自分たちの地域は自分たちで

野田自治会が救急訓練

自主防災の意識を高めようと、7月20日、野田自治会山脇勉自治会長）は、野田公会堂で救急訓練をしました。

訓練には、20人の地域住民が参加。同地区の池田直直さんの指導のもと、始めに災害時の避難方法や注意点について知識を深め、その後は、実際に三角きんを使った出血止めなどの救急訓練をしました。

参加者は「天ぷら油の火災対処方法は」などと積極的に質問をしていました。山脇自治会長は「訓練により、地域の防災力やきずなが深まれば」と話していました。

水面をアメンボのようにスイスイと

「川から見る景色は最高」カヌー教室

カヌー体験を通して川に親しんでもらおうと、8月2日、日野川カヌースクールが、安原力ヌーの里で開かれました。

教室には、子どもから大人まで約20人が参加。パドル操作などの基本動作を学び、さっそく川の中へ。初めは、思うように進めなかった参加者もコツをつかむと、スイスイと水面を楽しそうに進んでいました。



カヌーで水面を自在に進む

見たことのないヨーヨーにびっくり

おもちゃ作家の若林さんを招き「おもちゃづくり教室」

一風変わったヨーヨーを作ろうと「おもちゃづくり教室」が、8月3日、山村開発センターで開かれました。

ヨーヨーは、講師のおも



ヨーヨーをすてきな色に塗り上げる

ちゃ作家、若林孝典さん（岡山県）が「自分で作る喜びを感じてほしい」と改良したもので、上につるし、ひもを引くと回転しながら上下する仕組み。このヨーヨーづくりに25人が挑戦しました。

参加者は、糸ノコで木を思い思いの形に切り抜き、色をぬって組み立てました。

参加した富田麻璃亜さん（本郷）は「星型に木を切り、回るときれいになるように色を工夫しました」と作品を満足そうに見つめていました。